

誘惑

その女は電車で醜い足を組んでいた
僕は目をそむけた

輝くものよ、呪われよ

その女は僕に侮蔑の眼差しを固定した
僕は縮み上がった

安らぎよ、去るがいい

「生活という麻薬を、僕は常用する者だ」
僕はハンカチで口を拭いつつ、必死でそう語った

呼び寄せる者には全て従うがいい

僕はその女の口元に確かに白い歯を認めた

僕はその時に悟ったのだ
吐き気と貪欲とが同時に起こり得ることを

(1991.9.10)